

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	ぼるく中原		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		2025年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19 (回答者数)	14
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		2025年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月11日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の状況を保護者と共有しながら、適切に個別支援計画に反映している。	連絡ノートや電話、送迎時などで児童の状況を共有している。児童の様子を写真でお渡ししている。	保護者の同意を得て、学校・関係機関とも連絡をとり、当事業所の状況だけでなく総合的に把握していくよう努力する。
2	成人の施設の見学会を行っている。	先々のイメージを持つことが大切と考え、直近2年種別が違う施設を見学するようにしてきた。できる限り多くの方の参加していただけるよう、2回に分け、送迎の必要な方は送迎のサービスを提供するようにしている。	保護者のニーズをとらえ、今後も継続していく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の他の子どもとの交流が持てない。	子どもたちが多い公園などでの接触は努力しているが、感覚が鋭敏な方たちが多く、室内での交流に困難が予想される。	近くの学校に相談し、何ができるか検討する。
2	職員の経験は長いのだが、高齢化している。	若返りが課題だが、人材不足である。	若い方のボランティアを受け入れ、人材育成に努力する。
3			